

いじめの未然防止、早期発見、早期対応に関する取組

対応の流れ	教職員の動き等	留意点
<p>1 未然防止</p> <p>(1)全教職員が危機意識を持ち、気になることを確実に伝えあう。 (2)いじめは絶対に許さないことを宣言する。 (3)いじめの理解と抑止に結びつく調査を実施する。 (4)道徳や人権の学習を中心として全ての教科・領域を通して、心の教育を推進する。</p>	<p>2 いじめ情報のキャッチ</p> <p>(1)朝の出欠確認による生徒観察 (2)学校生活アンケート (3)生活記録ノートの活用 (4)日頃のコミュニケーション等 (5)小学校の申し送り (6)関係機関との密な情報交換 (7)家庭・地域との連携</p> <p>3 報告</p> <p>憶測を入れず事実を報告</p> <p>1 日目に対応(その日に)</p>	<p>1 未然防止</p> <p>(1)朝の出欠確認による生徒観察 (2)学校生活アンケート (3)生活記録ノートの活用 (4)日頃のコミュニケーション等 (5)小学校の申し送り (6)関係機関との密な情報交換 (7)家庭・地域との連携</p> <p>3 報告</p> <p>憶測を入れず事実を報告</p> <p>1 日目に対応(その日に)</p>
<p>4 事実の正確な把握・情報収集</p> <p>(1)いじめられた生徒・いじめた生徒から事実確認・情報収集 (2)他の生徒、教職員からの事実確認・情報収集</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「いじめ対策支援チーム会議」</p> <p>①被害者直接指導班 ②加害者直接指導班 ③指導サポート班</p> </div> <p>迅速な対応(その日に)</p>	<p>【いじめと認知、判断した場合】</p> <p>つじつまが合わない</p> <p>事情聴取</p> <p>情報の突き合わせ</p> <p>報告</p> <p>指示</p>	<p>○些細なトラブルを見逃さないようにする。 ○全ての教職員で全ての生徒を見守る。 ○報告は早く・正確にする。(5W1H)</p> <p>○訴えに対してはその日のうちに行動する。 ○被害者の「大丈夫」は鵜呑みにしない。 ○傾聴、共感的理解、適応へのサポートをする。 ○恐喝や暴力行為等は警察と連携をする。 ○見通し(生徒への指導・保護者対応をいつまでに・誰がどこまで)を確認・共有する。</p>
<p>5 いじめへの対応</p> <p>(1)いじめられている生徒への支援 (2)いじめている生徒への指導 (3)はやし立てる、見て見ぬふりする生徒への指導 (4)担任から保護者への連絡</p> <p>迅速な対応</p>	<p>全ての教職員</p> <p>管理職 担任 学年教職員 相談員 生徒指導主任 他学年の教職員</p> <p>(1)いじめられている生徒へ支援 (2)いじめている生徒へ指導 (3)はやし立てる生徒、見て見ぬふりする生徒へ指導</p>	<p>○個人で対応することなく、学校の問題として全教職員が関わる。 ○毅然とした態度で対応する。 ○具体的に身につけさせたい力を明確にする。 ○「あなたが心配」というスタンスを忘れない。</p>
<p>6 いじめの経過観察</p> <p>変化を見守る</p>	<p>被害者、加害者、周囲の生徒を見守り、問題をくり返さないよう心の成長を促す。</p>	<p>○いじめの完全な解決を目指す。</p>